

品質向上した自家製「餡」を主力の大福やどら焼きに活用も、10月の価格改定以降は売上苦戦

	上半期	下半期	通期
連結売上高（前期比）	3 3 3 億円 (96.1%)	3 5 1 億円 (97.3%)	6 8 4 億円 (96.7%)

・昨年9月に伊勢崎工場に新製餡ライン稼働。自家製「餡(あん)」の品質向上を実現し、主力品に活用広げ、単月で売上が大きく回復するも、価格改定を実施した10月以降、売上苦戦。

和生菓子 (291億円、94.2%)

- ・昨年9月に新規製法の自家製「餡(あん)」を主力の「団子、大福、饅頭」に活用拡げるも、10月価格改定後、売上低下。
- ・今期、女性の製品開発体制強化。自家製「餡(あん)」を活用したチルド製品や和スイーツ等、新製品の開発に注力。

蒸しパン (148億円、95.2%)

- ・主力「北海道チーズ蒸しケーキ」は前期並みも、「三角蒸しパン」や「ラップ蒸しパン」の売上減少が影響。
- ・今期は生地に卵、バター、メレンゲ等を活用した風味や食感に拘った製品開発と値頃感ある徳用製品を充実し回復図る。

焼菓子 (71億円、98.8%)

- ・主力の5個入れ「焼菓子ミックス」は順調も「ブッセ」が下回る。

中華まん (94億円、95.6%)

- ・「具たっぷりシリーズ」等、苦戦。自社業態向け、チルド温度帯活用のレンジアップ中華まんはニーズを捉え寄与。店舗のロス削減にも繋がる。

■和生菓子



※新規製法の自家製「餡(あん)」の活用を進める

■蒸しパン



(北海道チーズ蒸しケーキ)

■焼菓子



(焼菓子ミックス)

■中華まん



自社業態向け チルド (レンジアップ中華まん)

新規製法「餡(あん)」の更なる活用を進め、高級志向や節約志向に対応。女性の製品開発体制を強化し、新製品開発を促進